

令和 5 年 4 月 6 日現在

機関番号：16401

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18K02793

研究課題名（和文）北欧諸国のインクルーシブ教育における包摂と排除の変遷

研究課題名（英文）Transitions of inclusion and exclusion in inclusive education in the Nordic countries.

研究代表者

是永 かな子（KORENAGA, KANAKO）

高知大学・教育研究部人文社会科学系教育学部門・教授

研究者番号：90380302

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,100,000円

研究成果の概要（和文）：研究の全体構想は、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドの北欧諸国のインクルーシブ教育の展開過程における包摂と排除の構造を検討することであった。具体的には、ノーマライゼーション、インテグレーション、インクルージョンの具体化を先進的に進めてきた北欧諸国がこれまでインクルーシブ教育を推進する過程でいかに排除を逡減し、包摂を増進させたかに着目しつつ、インクルーシブ教育の多義性と矛盾・課題、通常学校におけるインクルーシブ教育実現の方略、特別学校の子どものインクルーシブ教育の推進、多様な教育的ニーズに応じる「特別ニーズ教育」の観点から明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来の研究では、北欧の研究者は基本的に北欧の視点で各国の動向を分析する。また、北欧の研究者はそれぞれの国の動向をその国単独で分析することが多い。よって北欧4カ国でも近隣の教育の情報を持ち得ていない場合すらある。しかし本研究では日本の視座から北欧4カ国のインクルーシブ教育を比較しつつ、理論的、実践的に分析した。また日本が直面する課題という視点から北欧の研究者にはない独創的な問題関心・分析結果を導くことができた。

研究成果の概要（英文）：The overall concept of the study was to examine the structures of inclusion and exclusion in the development process of inclusive education in the Nordic countries of Sweden, Denmark, Norway and Finland. Specifically, the study focused on how the Nordic countries, which have been advanced in the embodiment of normalisation, integration and inclusion, have diminished exclusion and increased inclusion in the process of promoting inclusive education, and examined (1) the ambiguities, contradictions and challenges of inclusive education, and (2) strategies for realising inclusive education in regular schools. (3) Promotion of inclusive education for children in special schools, and (4) 'special needs education' to meet diverse educational needs.

研究分野：特別支援教育

キーワード：北欧 特別ニーズ教育 インクルーシブ教育 包摂 排除

1. 研究開始当初の背景

インクルーシブ教育の多義性と矛盾・課題

1994年のユネスコのサラマンカ声明によって、「全ての者の教育(Education for all)」のための特別ニーズ教育やインクルージョンの推進が世界的に提起された。しかし、ノルウェーのReindal, S.M.は、インクルージョン推進のためには不必要な分類やそれに伴う排除を回避しなければならないが「特別な」ニーズのある子どもへの付加的な支援の正当性や根拠を示す必要があるという矛盾が生じる、と指摘する(Reindal, S.M., 2016)。2006年12月13日に国連総会において採択され、2008年5月3日に発効した国連の障害者権利条約でもインクルーシブ教育は推進されることになったが、その解釈は多義的であり、国によって異なるため世界的な動向も踏まえつつ、日本のインクルーシブ教育の定義や意味内容の具体化を進めなければならないと考える。

通常学校におけるインクルーシブ教育実現の方略の検討

インクルーシブ教育の推進によって、通常学校の在り方が問われている。イタリアは1970年代の教育改革によって全障害種の特別学校を廃止し、通常学級で障害児の対応を行う「フルインクルージョン」に移行した。現在もなおその方針を堅持し、通常学級を支援する特別な教員の活用によって通常学級主体のインクルーシブ教育を実践する(Anastasiou, D.ら, 2015)。ノルウェーも1992年に特別学校を原則廃止し、教育課程の一元化や基礎自治体立教育心理研究所(PPT)の支援を基礎とした、通常学校主体の特別な教育的ニーズに応じる「適応教育(Adapted education)」を推進する(Kari, N., 2014)。通常学校で重度重複障害を含めたすべての子どもの教育保障を行うためには、通常学級、特別学級、リソースルーム、柔軟な学習集団編成、専門家の配置、多領域・他機関との連携体制の強化などの分析が必要になる。

通常学級における子どもへの積極的介入として、アメリカでは「積極的行動サポートのための全校体制(Schoolwide Positive Behavior Support, 以下、SWPBS)」が体系化されている。問題行動を減らして社会的行動を促進するために、幅広い相互作用効果を考慮しつつ、三層の行動支援枠組みを用いて介入・評価する方法であり、実践研究の成果をもとに根拠のある介入支援として確立・導入されている(Horner, R.H.ら, 2010)。ノルウェーでもSWPBSを参考に積極的行動支援のための校内体制整備として、「積極的行動とメンタルヘルス(Positiv atferd, støttende læringsmiljø og samhandling, 以下、PALS)」を開発した。国のPALS研究センターも設置され、具体的な対応方法マニュアルや教材の開発を伴う全国的な介入調査を行い、その研究成果を蓄積している(Sørli, M-A.ら, 2015)。フィンランドでもSWPBSやPALSを参考に、行動問題への段階的支援としてのProkouluプロジェクトが着手されている(Närhiab, V., et al., 2014)。このように通常学級における積極的な行動支援によって、二次障害の予防・回復を図る方法も日本において参考になる。

段階的支援という点ではアメリカでは階層型介入モデル(Response-to-intervention, 以下、RTI)が試みられている(Grosche, M.ら, 2013)。フィンランドの2014年ナショナルコアカリキュラムでも三段階支援が導入された(Finnish National Board of Education, 2016)。Jahnukainen, M.らによるとフィンランドの三段階支援は、アメリカのRTIと類似した定義を持つ複数の層で構成されており、両国において基礎的な政治的期待は、段階的介入によってインクルーシブ教育を促進すること、特別教育の対象となる子どもの数を減少させること、同時に特別教育の経費を抑えることとされる(Jahnukainen, M.ら, 2016)。日本でも全ての子どもを対象とした第一段階支援、通常学級での付加的・追加的支援を行う第二段階支援、特別な場での指導を含む第三段階支援が提唱されつつある。

フィンランドでは、教室で複数の教員が指導する協働教授(Co-teaching)に取り組んでいる(Saloviita, T., 2010)。とくに特別教員が学級担当教員や教科担当教員等多様な教員と協働教授を行っており、その結果、協働教授は子どものみならず教員にも有用であることが指摘されている(Takala, M.ら, 2012)。このようにインクルーシブ教育を推進するための通常学校体制、介入方略、段階的支援の実際について分析することで、今後の日本の通常学校の有り様について考察することが必要である。

特別学校の子どものインクルーシブ教育の推進

スウェーデンでは、個に応じた教育内容を保障しつつインクルーシブ教育を行う「個の統合」を進める。そのために通常学級において通常学校の教育課程を履修する「通常の子ども」と通常学級において知的障害特別学校の教育課程を履修する「統合された子ども」が存在する(Skolverket, 2015)。1つの教室で2つの教育課程や評価を念頭に教示することが求められているのである。

スウェーデンにおいては特別教育にかかわる専門教員として特別教員(瑞: Special lärare, 英: Special teacher)と特別教育家(瑞: Special pedagog, 英: Special educator)が養成されている。Lindqvist, G.らは、スウェーデンの学校での問題の分析や支援方法について、就学前教員、教員アシスタント、特別ニーズ教育コーディネーター(SENCO)としての特別教育家、特別教員、

学級担当教員、教科教員を対象にアンケート調査を行った。その結果学校においては他職種の教員がそれぞれのアプローチによって問題に関わっているが、学校全体の特別教育の発展については、特別教育家が最も意識していたという結果を示した(Lindqvist, G.ら, 2011)。特別教育の知識を有し、スーパーバイザー、コーディネーター、コンサルタントとして、学校全体のインクルーシブ教育を推進する特別教育家の専門性が注目されよう。これらのインクルーシブ教育推進者の専門性向上は日本においても共通する課題であろう。

多様な教育的ニーズに応じる「特別ニーズ教育」への対応

北欧のインクルーシブ教育を分析するには、通常学級で十分に学習できない子どもを対象としたギフテッド教育(Kyed, O., et al., 2006)、社会的・情緒的困難や問題行動等の二次障害対応、移民・難民の支援(Girma, B., 2008)など「障害」の枠組みで捉えられない「特別な教育的ニーズ」に着目することも、今後日本のインクルーシブ教育を推進する際に可視化される「グレーゾーン」の問題としても申請者は重要であると考えられる。

よって、本研究では第一にインクルーシブ教育をいかに捉えるか、具体的実践として第二に通常学校改革、第三に特別学校の子どもにとってのインクルーシブ教育、第四にインクルーシブ教育の包括・排除の視点から可視化される特別ニーズ教育の課題について、明らかにした。日本における特別ニーズ教育もますます多様化が見込まれるため、北欧の視点を有しつつ、日本における文献研究や調査研究も遂行すべきであろう。

2. 研究の目的

従来の研究では、北欧の研究者は基本的に北欧の視点で各国の動向を分析する。また 北欧の研究者はそれぞれの国の動向をその国単独で分析することが多い。よって北欧 4 カ国でも近隣の教育の情報を持ち得ていない場合すらある。しかし本研究では日本の視座から北欧 4 カ国のインクルーシブ教育を比較しつつ、理論的、実践的に分析する。申請者はスウェーデン語を理解できるため、類似言語としてのデンマーク語、ノルウェー語の一次資料を理解する高い可能性を有する。フィンランドでもスウェーデン語が公用語であるため、公式な情報はスウェーデン語でも提供される。よって日本が直面する課題という視点から北欧の研究者にはない独創的な問題関心・分析結果を導くことができる。そして 北欧福祉国家の内実を人口が集中するいくつかの都市部と広範な過疎地を抱える地域社会を維持するシステムとしてその内実をとらえると、北欧の在り様は、申請者が生活する高知県をはじめとする日本の大多数の地方におけるインクルーシブ教育の具体策の分析に示唆的であると考えられる。そのため日本の現状も念頭に随時、日本の課題を比較研究の軸として分析を行った。

3. 研究の方法

本研究では日本型インクルーシブ教育の創造における課題を意識しつつ、北欧のインクルーシブ教育の国際比較研究を行った。具体的には以下である。

インクルーシブ教育の多義性と矛盾、具体的にはラベリングを回避しつつ「特別」な支援を行う可能性と課題について検討した。

通常学校におけるインクルーシブ教育実現の方略、具体的には通常教育における学習困難予防支援策や協働教授、段階的支援などに注目して分析した。

特別学校の子どものインクルーシブ教育の推進、具体的には特別学校が対象とする障害種とその教育内容について、またその存廃も含めた近年の動向、インクルーシブ教育にかかわる教員の専門性向上、個に応じた教育の保障のための個別計画の活用と保護者の参画について考察した。

多様な教育的ニーズに応じる特別ニーズ教育の実践、具体的にはギフテッド、移民、LGBT、いじめ、不登校、虐待、貧困等、多様な特別な教育的ニーズを有する子どもへの支援について検討した。

本研究は、文献研究と調査研究によって構成された。

また日本における文献研究と調査研究も比較研究として実施した。

4. 研究成果

研究の全体構想は、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドの北欧諸国のインクルーシブ教育の展開過程における包摂と排除の構造を検討することであった。具体的には、ノーマライゼーション、インテグレーション、インクルージョンの具体化を先進的に進めてきた北欧諸国がこれまでインクルーシブ教育を推進する過程でいかに排除を減らし、包摂を増進させたかに着目しつつ、インクルーシブ教育の多義性と矛盾・課題、通常学校におけるインクルーシブ教育実現の方略、特別学校の子どものインクルーシブ教育の推進、多様な教育的ニーズに応じる「特別ニーズ教育」の観点から明らかにした。すべての観点で日本の課題も比較研究として分析した。

検討した内容をより詳細に以下に記す。

平成 30 年度には、文献研究としてインクルーシブ教育の多義性と矛盾を念頭に、各国におけるインクルーシブ教育に関する概念、関連施策について分析した。具体的には、第一に 4 か国のインクルーシブ教育の概念を確認した、第二にインクルーシブ教育として包括する領域について検討した。

調査研究としては着実に現地調査を行うために、基本は一年に最低一国は出張するペースで訪問調査を実施した。一年目はフィンランドに渡り、現地調査と資料収集を行った。高知大学と部門間協定があるユバスキュラ大学の Sakari Moberg 名誉教授、Matti Kuorelahti 名誉教授に研究協力を依頼し、フィンランド第七の街ユバスキュラ市と首都ヘルシンキ市を中心に実態調査と文献収集を行った。

平成 31 年度・令和元年には、文献研究として政府公刊資料とともにノルウェーインランド応用科学大学に所蔵されている関連文献、各学校における一次資料の収集と分析を行った。通常学校におけるインクルーシブ教育実現の方略として通常学校の取組を中心に調査した。4 か国の特徴的な通常学校を複数抽出し、通常学校の取組について考察した。

調査研究としては二年目は特別学校を原則廃止したノルウェーにおいて、現地調査と資料収集を行った。高知大学と大学間協定があるノルウェーのノルウェーインランド応用科学大学の Ann-Cathrin Faldet 教授、Kari Nes 准教授、に研究協力を依頼し、ノルウェーインランド応用科学大学のあるハンマール市と首都オスロ市を中心に、実態調査と文献収集を行った。

令和 2 年度には、文献研究として特別学校の子どものインクルーシブ教育の推進として、特別学校の存廃状況、センター的機能の強化等について考察した。

調査研究は COVID-19 の影響で実施できなかった。調査研究課題は海外出張が可能になった令和 4 年以降に実施することとした。

令和 3 年度には、文献研究として多様な教育的ニーズに応じる特別ニーズ教育として、通常学級で十分に学習が保障されない子どもへの支援と各国における通常学級における個の多様性へのアプローチについて分析した。具体的には、移民問題や虐待、ギフテッド、LGBT、いじめ、不登校、貧困等、多様な特別な教育的ニーズを有する子どもへの教育保障について分析した。

調査研究は COVID-19 の影響で実施できなかった。調査研究課題は海外出張が可能になった令和 4 年以降に実施することとした。

また調査研究が 2 年間実施できなかったことから研究期間を延長した。

令和 4 年度は調査研究を主に遂行した。

具体的には多様な特別学校を各自治体のイニシアティブで運用するデンマークにおいて、現地調査と資料収集を行った。高知大学と部門間協定があるオーフス大学やメトロポリタン大学の協力を得て、デンマークの首都コペンハーゲン市を中心に、実態調査と文献収集を行った。実態調査訪問先は、市立特別学校、市立通常学校とした。またスウェーデン・パティレ市にある高知大学教育学附属特別支援学校の姉妹校オレショー知的障害特別学校も訪問し、近年のスウェーデンにおける知的障害特別学校の改革動向と将来の方向性について具体的に聞き取り調査を行った。

他にも北欧 4 カ国の内最も移民を受け入れているスウェーデンにおいて、高知大学と大学間協定があるイエーテボリ大学の Girma Berhmu 教授およびイエーテボリ大学ギルバーク神経精神医学センターの Christopher Gillberg 教授の研究協力を得て、第二の都市イエーテボリ市と第三の都市マルメ市を中心に、実態調査と文献収集を行った。

以上の北欧における文献研究と調査研究に基づき、日本の通常学校の有り様についても考察するために、日本における文献研究、調査研究も実施した。

成果は学会発表、論文執筆で公表した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計82件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 66件）

1. 著者名 是永かな子, 石田祥代, 松田弥花, 眞城知己	4. 巻 第43巻
2. 論文標題 デンマークの後期中等教育機関におけるインクルーシブ教育の制度	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本発達障害研究	6. 最初と最後の頁 415, 426
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬空, 近藤修史, 是永かな子	4. 巻 第70巻
2. 論文標題 アセスメントに基づいた小学校第2学年の算数科授業	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 45, 54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬空, 近藤修史, 是永かな子	4. 巻 第70巻
2. 論文標題 段階的支援モデルを意識した小学校第4学年の算数科授業	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 55, 65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 第70巻
2. 論文標題 北欧の初等中等教育機関におけるインクルーシブ教育と菊池実践の比較検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 33, 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬空,近藤修史,是永かな子	4. 巻 第82号
2. 論文標題 肯定的評価を意識した小学校第1学年の算数科のユニバーサルデザイン授業	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 261,268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬空,近藤修史,是永かな子	4. 巻 第82号
2. 論文標題 児童の意思表示に注目した小学校第6学年の算数科授業	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 253,260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 土居一平,是永かな子	4. 巻 第82号
2. 論文標題 知的障害特別支援学校高等部における道徳の授業実践-「ジョハリの窓」を活用した新たな長所の獲得-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 243,252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子,石田祥代	4. 巻 第82号
2. 論文標題 スウェーデンにおけるインクルーシブ教育の観点に基づく優秀児の教育的支援	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 149,155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安岡志織, 是永かな子	4. 巻 第4号
2. 論文標題 多様性を前提としたインクルーシブな学級経営 菊池学園の取り組みを参考に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 269, 277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥宮智子, 是永かな子	4. 巻 第4号
2. 論文標題 アセスメントの分析を通じた通常学級における特別支援 - 国語科の授業実践と学級経営の取り組み -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 243, 252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 古味梢, 是永かな子	4. 巻 第4号
2. 論文標題 特別な支援が必要な生徒に対する小規模中学校におけるチーム支援体制づくり	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 199, 205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小串真紀, 是永かな子, 岡崎由佳	4. 巻 第4号
2. 論文標題 多層指導モデルMIMを用いた学力向上を意図した特別支援教育の活用(第六報) 第一回および第二回MIM-PMの差の検討と校内体制整備の視点から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 235, 242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 第4号
2. 論文標題 スウェーデンにおける知的障害者福祉と生命倫理	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 207,213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹村三枝, 是永かな子, 澳本典子, 三野和香子, 大谷俊彦	4. 巻 第4号
2. 論文標題 不登校対応としての中学校校内適応指導教室の可能性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 111,122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 土居一平, 是永かな子	4. 巻 第4号
2. 論文標題 知的障害特別支援学校における情報モラルに関する道徳の授業実践 - ライフスキルの観点に基づいて -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 167,174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奈良雅子, 是永かな子, 野村幸代	4. 巻 第4号
2. 論文標題 特別支援学校におけるチーム支援の質的向上に関する研究 PANPSコンサルテーションと心理検査活用の検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 215,226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 野中怜香,是永かな子	4. 巻 第4号
2. 論文標題 スウェーデンの就学前学級の制度と実際	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 227,233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬空,近藤修史,是永かな子	4. 巻 第4号
2. 論文標題 集団支援と追加的支援を包括した小学校第5学年の算数科授業	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 181,189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 第26巻
2. 論文標題 「ほめる」でつなぐ、菊池実践とインクルーシブ教育	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 白熱する教室	6. 最初と最後の頁 30,35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥宮智子・是永かな子	4. 巻 19
2. 論文標題 授業のユニバーサルデザインと学習リーダーを用いた小学校の授業実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 発達障害支援システム学研究	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石田祥代・是永かな子・松田弥花・本所恵・渡邊あや	4. 巻 16
2. 論文標題 インクルーシブ教育からみた義務教育から後期中等教育への移行とその支援 フィンランドの取り組みと課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 北ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 16
2. 論文標題 スウェーデンにおける民主主義社会の構成員 (samhällets medlem) を育成するインクルーシブ教育	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 北ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 29
2. 論文標題 ノルウェーの後期中等教育段階における「特別な学校」の機能	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 LD研究	6. 最初と最後の頁 193-198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 69
2. 論文標題 特別ニーズ教育の観点からの外国の背景のある子どもの支援に関する一考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 59-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 37
2. 論文標題 スウェーデンにおける障害のある人に対するシンボルを用いた情報保障	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 北欧史研究	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山浦祐香・是永かな子	4. 巻 19
2. 論文標題 デンマークの国民学校におけるペダゴグ (Padagog) の役割	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 発達障害支援システム学研究	6. 最初と最後の頁 85-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 69
2. 論文標題 スウェーデンにおける子ども健康チームを活用したインクルーシブ教育推進	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 49-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 69
2. 論文標題 インクルーシブ教育を推進する教員のマインドセットに関する一考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 37-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤修史・是永かな子	4. 巻 81
2. 論文標題 通常の学級において全ての児童に授業参加を促す支援 クラスワイドな支援と個別支援の関連を図りながら	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 189-198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤修史・是永かな子・服部裕一郎	4. 巻 81
2. 論文標題 通常学級における算数困難の可能性のある児童への個別支援の検討 早期発見・早期支援の観点から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 199-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 服部裕一郎・松原和樹・是永かな子・近藤修史	4. 巻 81
2. 論文標題 複式学級における合同学習形態による算数科授業の開発() - 小学校低・中学年に焦点をあてたユニバーサルデザイン授業の実践 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 73-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子・谷口緑・岡崎由佳	4. 巻 81
2. 論文標題 多層指導モデルMIMを用いた学力向上を意図した特別支援教育の活用(第五報) テストの結果に応じた介入方法の考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 181-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 池川真妃・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 通常学級における合理的配慮のあり方 クラスワイドな支援と個別支援の視点からのコンサルテーション	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 47-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋直希・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 通常学級に在籍する子どもを対象にしたMIMを用いた実態把握と個別支援	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 41-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 系井梨緒・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 特別支援教育の観点からのギフテッド教育の可能性 ユニバーサルデザインを用いた教育実践の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 33-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田部ゆか・是永かな子・楠目安由・新居ちひろ・山下花	4. 巻 3
2. 論文標題 中学校における認め合いと支え合いと高め合い 通常の学級における特別な支援に関する教育の推進	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 25-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河本勝一郎・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 道徳の授業と特別支援教育の融合による多様性を内包する学級づくり	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 77-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子・ニルス イェールンド	4. 巻 3
2. 論文標題 デンマークの教員におけるインクルーシブ教育への態度 Moberg Attitude Scale による結果と考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 69-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千明亜由美・是永かな子・松田弥花・山崎敏秀・平地正幸・小原浄二・杉元美栄・瀧村毅・宇川浩之・栗田勇氣	4. 巻 3
2. 論文標題 高知県における知的障害特別支援学校卒業生の一般就労先の職務分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 233-240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 土居一平・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 特別支援学校におけるライフスキルトレーニングの実践と効果 - ライフスキルトレーニングの視点に基づく道徳等の授業内容の検討 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 249-258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥宮智子・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 英語ユニバーサルデザインに基づく小学校外国語科授業実践	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 259-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤修史・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 個別指導と一斉指導の機能的な関連を図る段階的支援の在り方の検討 - 数の合成・分解指導を通して -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 271-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村山真一・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 里親家庭支援としてのフォスタリングチェンジプログラムの導入と効果の検証	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 241-248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 朝岡寛史・明石真奈・是永かな子	4. 巻 3
2. 論文標題 保育士を対象とした発達が気になる幼児の支援に関する研修の効果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 153-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 北欧4か国における多様な教育的ニーズのある子どもを包括した授業実践 デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドにおける個に応じた集団指導の取り組み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 107-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子・石田祥代	4. 巻 80
2. 論文標題 ノルウェーの後期中等教育におけるインクルーシブ教育の展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 209-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子・石田祥代	4. 巻 80
2. 論文標題 スウェーデンの後期中等教育学校におけるインクルーシブ教育の展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 119-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子・石田祥代	4. 巻 80
2. 論文標題 フィンランドの後期中等教育学校におけるインクルーシブ教育の展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 221-230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山浦祐香・是永かな子	4. 巻 68
2. 論文標題 デンマークの特別学校におけるペダゴギーの役割	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 43-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山浦祐香・是永かな子	4. 巻 68
2. 論文標題 デンマークの就学前教育機関におけるペダゴギーの役割	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 33-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakari Moberg, Etsuko Muta, Kanako Korenaga, Matti Kuorelahti, Hannu Savolainen	4. 巻 35
2. 論文標題 Struggling for inclusive education in Japan and Finland: teachers' attitudes towards inclusive education	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 European Journal of Special Needs Education	6. 最初と最後の頁 100-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 28
2. 論文標題 デンマークにおける地方分権の推進とインクルーシブ教育改革	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 LD研究	6. 最初と最後の頁 296-301
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子・石田祥代	4. 巻 15
2. 論文標題 スウェーデン・トッメリラ自治体における中央子ども健康チームの取り組み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 北ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 57-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石田祥代・是永かな子	4. 巻 15
2. 論文標題 デンマークにおける地方自治構造改革後のインクルーシブ教育の取り組みに関する報告	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 北ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 47-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子・眞城知己・石田祥代	4. 巻 18
2. 論文標題 デンマーク・ボーンホルム自治体におけるインクルーシブ教育推進 2007年以降の地方分権改革との関連を念頭に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本発達障害システム研究	6. 最初と最後の頁 67-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanakano Korenaga, Midori Taniguchi, Yuka Okazaki	4. 巻 68
2. 論文標題 School Consultation by Using the Universal Design of Class Checklist to Promote Inclusive School	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 21-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥宮智子・是永かな子	4. 巻 19
2. 論文標題 授業のユニバーサルデザインと学習リーダーを用いた 小学校の授業実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 発達障害支援システム学研究	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川裕代・是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 実態把握に基づいた指導の追求と相談技術の向上 小学校特別支援学級への継続した支援を通して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 257-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤択磨・是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 知的障害特別支援学校高等部における幸福感の概念を用いた自立活動の実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 269-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山浦祐香・是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 市町村教育委員会による障害のある子どもの就学前教育機関から義務教育機関への移行支援	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 299-310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤修史・是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 個別指導を一斉指導に活かすための算数教科指導法の検討 三段階指導の観点から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 339-348
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 池川真妃・是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 通常学級における合理的配慮のあり方 通常学級内の個別支援に関するコンサルテーション	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 329-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上岡清乃・伊谷行・是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 フィリピンにおける教育改革とインクルーシブ教育の可能性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 135-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷口緑・是永かな子・岡崎由佳	4. 巻 2
2. 論文標題 多層指導モデルMIMを用いた学力向上を意図した特別支援教育の活用(第四報) 取組状況調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 147-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村山真一・是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 里親家庭支援としてのフォスタリングチェンジプログラムの導入の可能性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 125-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷田由美・是永かな子・山崎敏秀・蒲生啓司	4. 巻 2
2. 論文標題 知的障害特別支援学校の接客サービスにおける丁寧さや気配りなどの他者への配慮に関する行動分析に基づく指導効果	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 157-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松田弥花・是永かな子	4. 巻 2
2. 論文標題 E県立知的障害特別支援学校における自立活動に関する現状と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 115-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 服部裕一郎・松原和樹・是永かな子・近藤修史	4. 巻 80
2. 論文標題 複式学級における合同学習形態による算数科授業の開発() ユニバーサルデザインを意識した授業モデルの構築とその実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 79-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥宮智子・是永かな子・服部裕一郎	4. 巻 1
2. 論文標題 小学校におけるユニバーサルデザインを意識した算数科の授業づくり - 基礎・基本の定着や学び合いに焦点化して -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宗石千佳・是永かな子・岩城裕之	4. 巻 1
2. 論文標題 通常学級におけるユニバーサルデザインを活用した国語科の授業実践について 1st ステージ、2nd ステージで行う ICT の活用方法	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 21-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川裕代・是永かな子・芝野稔	4. 巻 1
2. 論文標題 特別支援学校生徒に対するアセスメントを用いた実態把握と指導への活用	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 39-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奈良雅子・是永かな子・佐藤京子・芝野稔	4. 巻 1
2. 論文標題 高知県における巡回相談の現状と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 31-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子・末延久美・岡崎由佳・松本秀彦	4. 巻 1
2. 論文標題 多層指導モデルMIMを用いた学力向上を意図した特別支援教育の活用(第三報) 実態把握後の実践	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 49-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松本秀彦・名倉忍・是永かな子	4. 巻 1
2. 論文標題 小学校低学年の通常学級におけるMIM-PMによる継続的指導が読み流暢性に及ぼす効果(第1報)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 199-206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小曾湧司・是永かな子	4. 巻 1
2. 論文標題 フィンランドにおける通常学校における段階的支援の動向と実践 協働教授や移民支援の視点も包括して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学学校教育研究	6. 最初と最後の頁 49-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 79
2. 論文標題 ノルウェーにおけるインクルーシブ教育を推進する学校体制	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 171-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 79
2. 論文標題 フィンランドにおける幸福感を意識したインクルーシブ教育実践	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 181-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 79
2. 論文標題 フィンランド・ヘルシンキ自治体のスウェーデン語学校における段階的支援と幸福感を意識したインクルーシブ教育実践	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高知大学教育学部研究報告	6. 最初と最後の頁 191-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山浦祐香, 是永かな子	4. 巻 67
2. 論文標題 デンマークの教員養成およびペダゴギーに関する一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 51-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤択磨・是永かな子	4. 巻 67
2. 論文標題 フィンランドの特別教育における幸福感に関する研究動向	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 39-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子, 眞城知己, 石田祥代	4. 巻 67
2. 論文標題 デンマークにおける地方分権とインクルーシブ教育改革 - Helsingor municipalityの2007 年以降の変化に注目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高知大学学術研究報告	6. 最初と最後の頁 25-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 是永かな子	4. 巻 28
2. 論文標題 デンマークにおける地方分権の推進とインクルーシブ教育改革	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 LD研究	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計33件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 3件)

1. 発表者名 土居一平、古味聡子、渡邊莉都、三好喜久、是永かな子
2. 発表標題 知的障害のある児童生徒への「特別の教科 道徳」の実践 高知県立山田特別支援学校で作成した道徳の「内容項目表」を活用した系統性のある取組
3. 学会等名 日本特殊教育学会59回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 是永かな子、安岡志織
2. 発表標題 多様性を前提とした集団の学級経営 菊池学園の取り組みを参考に
3. 学会等名 日本特殊教育学会59回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 菊池実践に基づいたインクルーシブな学級づくり
3. 学会等名 日本LD学会第30回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 スウェーデンにおけるインクルーシブ教育の観点に基づく優秀児の教育的支援
3. 学会等名 日本発達障害学会第56回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 北欧の初等中等教育機関におけるインクルーシブ教育と菊池実践の比較検討
3. 学会等名 日本比較教育学会第57回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 戦後の教育改革の展開を念頭に置いた菊池実践の意義の検討 学習指導要領の変遷と教育改革の取り組みを中心に
3. 学会等名 日本発達障害支援システム学会2021年年度研究セミナー 研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 特別ニーズ教育の観点からの外国の背景のある子どもの支援に関する一考察
3. 学会等名 日本教育学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 インクルーシブ教育を推進する教員のマインドセットに関する一考察
3. 学会等名 日本教師教育学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 谷垂由美・山崎敏秀・是永かな子
2. 発表標題 気配りや思いやりなどの抽象的な事柄の習得を目指した行動分析に基づく接客サービスの指導効果
3. 学会等名 日本特殊教育学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤 修史・是永かな子・服部 裕一郎
2. 発表標題 算数困難の可能性のある児童への加減計算の習得過程における抽出個別指導の在り方の検討
3. 学会等名 日本LD学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 スウェーデンにおける子ども健康チームを活用したインクルーシブ教育推進
3. 学会等名 日本LD学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋直希・芝野稔・是永かな子
2. 発表標題 通常学校に在籍する児童を対象にしたMIMを用いた実態把握と個別支援
3. 学会等名 日本LD学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤修史・是永かな子
2. 発表標題 抽出個別指導と一斉指導の機能的な関連を図る算数科指導法の検討 - 三段階指導の観点から
3. 学会等名 令和2年度教職大学院研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 スウェーデンにおける知的障害者福祉と生命倫理
3. 学会等名 日本生命倫理学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 北欧4か国における多様な教育的ニーズのある子どもを包括した授業実践
3. 学会等名 日本LD学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 スウェーデンにおける民主主義社会の構成員を育成するインクルーシブ教育
3. 学会等名 北ヨーロッパ学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 是永かな子、石田祥代
2. 発表標題 ノルウェーの後期中等教育におけるインクルーシブ教育の展望
3. 学会等名 北ヨーロッパ学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kanao Korenaga
2. 発表標題 A practical study on universal design of lesson and learning leader at elementary school
3. 学会等名 WERA World Congress（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kanao Korenaga
2. 発表標題 School consultation by using the universal design of lessons checklist to make inclusive school
3. 学会等名 WERA World Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukiko Sawano, Miyuki Ohta, Hiroyuki Sato, Kanao Korenaga, Yaka Matsuda, Noriko Hasegawa
2. 発表標題 Comparative Studies on Recognition of Outcome of Various Lifelong Learning -- Searching for Effective Policy Linkage Structure
3. 学会等名 WERA World Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保田由香・近藤修史・是永かな子・服部 裕一郎
2. 発表標題 算数障害に関する日本での実践研究の現状と課題
3. 学会等名 日本LD学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芝野稔・池川真妃・是永かな子
2. 発表標題 小学校通常学級における集団支援に関する実践研究の現状と課題
3. 学会等名 日本LD学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤修史・是永かな子
2. 発表標題 子どもの発達特性に応じた「わかる」「できる」を成立させる教科指導法の在り方を探る～算数LDに焦点をあてて～
3. 学会等名 日本授業UD学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥宮智子・是永かな子
2. 発表標題 学習リーダーを活用したユニバーサルデザインに基づく算数科の授業づくり～「参加」と「理解」を促す指導方法～
3. 学会等名 日本授業UD学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 是永かな子・岩城裕之・野中茉央・田村康忠・松本直子
2. 発表標題 中学校の国語科に注目した 授業のユニバーサルデザインの実践
3. 学会等名 日本授業UD学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷垂由美、山崎敏秀、是永かな子
2. 発表標題 行動分析表を活用した知的障害生徒への喫茶サービス指導～アビリンピック全国大会でのベストパフォーマンスを目指して～
3. 学会等名 日本特殊教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 北欧における2000年以降の インクルーシブ教育の展開と挑戦 障害児に対する教育を中心に
3. 学会等名 日本比較教育学会 口頭発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 是永かな子
2. 発表標題 北欧諸国における教育の「平等」実現に向けた取り組み - マイノリティの教育機会保障 (北欧の障害のある子どもを中心に) -
3. 学会等名 日本比較教育学会 ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 眞城知己・石田祥代・是永かな子
2. 発表標題 デンマークの各自治体におけるインクルーシブ教育制度の 相違
3. 学会等名 日本特殊教育学会 ポスター発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷垂由美・山崎敏秀・鈴木恵太・是永かな子・喜多尾哲・寺田信一
2. 発表標題 システマティック・インストラクションに基づく21世紀型 能力の育成を目指した生活単元学習の授業づくり
3. 学会等名 日本特殊教育学会 ポスター発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 涌井恵・明官茂・横尾俊・清水潤・神山努・平沼源志・武富博文・半田健・福本徹・是永かな子
2. 発表標題 インクルーシブ教育場面における知的障害児の指導内容・方法の国際比較(1) フィンランド、スウェーデンと日本の比較から
3. 学会等名 日本特殊教育学会 ポスター発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清水潤・平沼源志・半田健・横尾俊・明官茂・涌井恵・神山努・武富博文・福本徹・是永かな子
2. 発表標題 インクルーシブ教育場面における知的障害児の指導内容・方法の国際比較(2) 交流及び共同学習における特別支援学級児童の指導目標の 焦点化による音楽の実践
3. 学会等名 日本特殊教育学会 ポスター発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 神山努・明官茂・涌井恵・横尾俊・清水潤・平沼源志・武富博文・半田健・福本徹・是永かな子
2. 発表標題 インクルーシブ教育場面における知的障害児の指導内容・方法の国際比較(3)
3. 学会等名 日本特殊教育学会 ポスター発表
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 鹿嶋真弓, 是永かな子編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 高知市教育委員会	5. 総ページ数 144
3. 書名 ほんの少し変えるだけでうまくいく	

1. 著者名 是永かな子・尾高進編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 188
3. 書名 やさしく学ぶ教育課程 特別支援教育	

1. 著者名 是永かな子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文理閣	5. 総ページ数 6
3. 書名 現代の特別ニーズ教育	

1. 著者名 是永かな子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 5
3. 書名 北欧の教育最前線市民社会をつくる子育てと学び	

1. 著者名 石田祥代・是永かな子・眞城知己編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 240
3. 書名 インクルーシブな学校をつくる:北欧の研究と実践に学びながら	

1. 著者名 是永かな子他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 22
3. 書名 世界の社会福祉 3 北欧	

1. 著者名 是永かな子他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 168
3. 書名 やさしく学ぶ教育課程 特別支援教育	

1. 著者名 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ジアース教育新社	5. 総ページ数 186
3. 書名 「知的障害のある子どもと共に学ぶ」を考える - 北欧の実践をふまえて -	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 インクルーシブ教育国際セミナー	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 インクルーシブ教育国際セミナー	開催年 2018年～2018年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------